

能登半島地震への企業団の応援活動について

1 経過

- 1月1日(月)16時10分頃
マグニチュード7.6、最大震度7の地震が能登半島で発生。
- 1月3日(水)9時30分
日本水道協会(以下「日水協」)関西地方支部長市(大阪市)を通じ、大阪府支部長市(豊中市)から初動部隊(堺市、企業団)に派遣要請。

2 企業団の対応状況

- 1月3日(水)16時頃
日水協大阪府支部からの応援要請を受けて、加圧式給水車2台、サポートカー2台、職員8名の体制で、東部・南部水道事業所及び村野浄水場から金沢市へ向け出発。
- 1月4日(木)9時
日水協大阪府支部からの追加応援要請(3日15時頃)を受けて、給水車1台、職員2名を追加で北部水道事業所から派遣。この結果、合計10名体制により被災地で応援活動実施。
- 1月6日(土)
日水協大阪府支部からの救援物資提供要請(4日10時頃)を受けて、6日(土)から第2陣が、企業団の仮設給水槽3台と、各水道協議会^(※)保有の給水袋3,200枚を積んで出発。
- 1月11日(木)以降
被災地での活動状況等を踏まえ、給水車3台、サポートカー1台、職員8名体制に変更。
1月31日(水)現在、第8陣が現地で活動中。
- 2月1日(木)以降(予定)
日水協大阪府支部内の応援体制に基づき、統合した水道センターからの応援隊派遣は、各水道協議会を通じた増援部隊として、各水道協議会と同調して対応。
なお、派遣中の応援隊は、給水車2台、サポートカー1台、職員6名体制で支援を継続。

※大阪府内を4つに分け、各水道事業体が隣接する事業体間で連絡・調整を行う組織

3 被災地での活動状況

- 金沢市企業局で日々打ち合わせを行いながら、石川県穴水町において他の水道事業体とともに自衛隊が設置するタンクへの補水や応急給水活動を実施中。
- 拠点となっている金沢市企業局から石川県穴水町までは、道路状況や渋滞などにより、片道3時間程度を要している。

4 その他

- 企業団のホームページ及びX(旧 Twitter)で活動状況を周知。

【参考資料】

1 現地位置図



2 現地活動状況

1/3 夕方 第1陣出発(南部水道事業所)	1/6 第2陣救援物資出発(南部水道事業所)
	
1/7 第2陣住民への給水活動(穴水町)	1/13 第3陣自衛隊との連携(穴水町)
	
1/24 給水基地での補水作業(穴水町)	1/24 第6陣住民への給水活動(穴水町)
	